京都のINGをCHECK IT OUT!!

口コミ情報カタログ

今月のオレが甘かった

おもろいもん

ビジネス街に昭和のかほり お宝埋没率すこぶる高し!

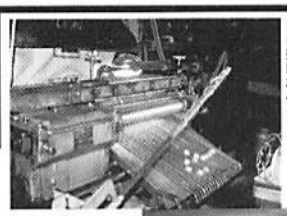
●丸太町の日用品店

年代物の商品看板をマニアに持ち逃げされたり、売って欲しいと懇願されることもあるそう。もはや日用品より儲かるのでは?

「このリンをならしてください」の元祖インターホンがたまらなく愛しいぞ。このリンを鳴らしたくば、烏丸丸太町をわずかに西へ

思わず「潰れそう」と漏らしそうになる反面、昭和の情緒を漂わせる日用雑貨店。商品のラインナップは、百人一首、こよみ、ふのり（海草を原料にした接着剤）など、まさに無秩序。窓辺で蚊取線香を片手に微笑む若き美空ひばりの看板や、招き猫達に誘われて、店内に踏み入れた足は3歩で停止。それもそのはず。タワシ、鍋、ゴム手袋などの日用雑貨の向こうに得体のしれない黒い山が。ねぇ、おばあちゃん。入口の掃き掃除の前にその山の発掘作業を進めたら?

旨いもん



ご好意により、特別にあめ作りの工程を拝見。100℃はある巨大なあめの固まりがみるみるうちに、小さなかわいいあめに変身

(株)伊藤軒
かぶしきがいしゃいとうけん
京都市南区東九条中殿田町16
☎075・681・6784
時9:00～19:00／第2・4土、日休

10年程前、ひな祭りにしっくりとくるお菓子はないものか?と考えた社長の力作。「あめ弁当」、寿司弁当「江戸前」は共に700円

●伊藤軒のあめ弁当

裏・お弁当解剖! 定番おかずの正体は!!

手の平に載るミニミニ弁当とご対面。ふたを空けると、おむすび、ゆで玉子、ウインナー、フルーツなど、懐かしの超定番メニューがお目見え。お腹のムシも鳴き出したところで、ハイ合掌！　ナ、ナニ？おむすびの米、カチカチやん。炊き置きにも程がある。気を取り直してゆで玉子。ハイ？これも硬っ！　殻はむこうよってチャブ台をひっくり返す1歩手前に気付いた舌先で感じた味覚。あ・ま・い。さては、コレ全部アメ?　これがホントの甘い罠!!

竹中脳のブキダシ名言 32才

思えば人生常に漫画と生きてきた。

「ひとりだけど　自由だ」

シップフレッシュコミックス
西村しのぶ著「サード・ガール」8巻　初版　P14より抜粋

▼

後梨子ちゃんの失恋後の一言で、「何て前向きでシンプルでカッコイイんだろう」と、他にも心に留めているセリフは多数。設定上、彼女は私と同じ年で、同世代＝つまり今の自分、プラスもう一組のカップルは、年上の世代＝つまりそのうちの自分、その二つを同時に思え、「こうありたい」「こうなりたい」みたいな目標が二つ持てたわけで、作者の西村しのぶさんはラストシーンを決めていると聞いた事がありますが、残念ながら連載はストップ中。いつしか主人公達の歳を越えてしまった自分がここにいて、半ば続編を読めつつも、それでも今でも考える、「彼らのように今の自分はカッコ良くなれとんのかなぁ?」と、何より出会えた事が純粋に嬉しい、そういう作品です。

林的映画三昧

イラストと文　ハヤシチサコ

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともアリ。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。

極楽銭湯 アワ～

大正生まれのはいからさん 和洋のミクスチュアは 平成の世も憧れの的

広いお風呂に優しい湯けむり。頼れる大御所銭湯

今月の銭湯　**船岡温泉**　ふなおかおんせん

天井からにらみを効かす伝説の鞍馬天狗。牛若丸が天狗から剣術を教わっている様子を象った勇ましい木彫

玄関先の神社仏閣でお馴染みの唐破風造り（からはふづくり）の橋えからして、ズシンと歴史の重みを漂ます船岡温泉。この重厚感に気後れして、風呂にもゆっくり浸かれないのでは?という小心者的不安を抱きつつ、暖簾をくぐってすぐ目に飛び込んでくる欄間の細工は、聞きしに勝る素晴らしさ。目前に繰り広げられる日露戦争や奏楽などの様子や、欄間と並ぶ名物で独特の色彩が美しい浴室のマジョリカタイルを無防備な姿で見惚れる船岡ビギナーもちらほら。その一方では常連衆が、欄間、タイルに目もくれず浴場まで関歩して檜風呂、こげ茶色で効きそうな薬湯、ジェット風呂、電気風呂、際立つ高温と深い浴槽が特徴の高温深風呂やサウナへと各自順番を決めているかのように大移動。男女日替わりの露店風呂で耳にしたお風呂テリトリーを巡る会話に一瞬背筋を凍らせたのも歴史ゆえ?　そんな試練に参加できるくらいに通い詰めてやる!と闘志が燃えた船岡の夜。

●船岡温泉
ふなおかおんせん
京都市北区紫野南舟岡町82-1
☎075・441・3735
時15:00～翌1:00（日8:00～翌1:00）／無休

創業大正11年、現在は3代目ご主人が営む、第二次大戦までは、料理旅館を営んでいたらしく、銭湯のスタイルとなったのは戦後のこと